

[05_01]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1467996>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 5 (1), 1972-02-22. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

なおプログラム提供に関して御尽力いただいた東大センター、京大センターの各担当者の方々並びに書き替え作業を行なっていただいた九大理学部上村正康氏に、この紙面を借りて、感謝の意を表します。

高次代数方程式の根を求めるサブルーチンの開発終了のお知らせ

利用者からの申し出により、センターのライブラリ開発計画として昭和46年9月より開発を依頼しておりました高次代数方程式の根を求めるサブルーチン (GRAEFF MODIFY法)が、このたび完成いたしました。開発していただいたのは、久留米高専の杠顕一郎氏です。

高次代数方程式の根を求めるサブルーチンは、現在、富士通提供のSSLの中にも、BAIRSTOW法によるもの、JARAT MODIFY法によるものなど数種がありますが、この杠氏のサブルーチンは、従来のサブルーチンに比して、時間はかかりますが、重根、近接根などを含む方程式では精度がよいようです。

このプログラムはQS, PLIB, TESTのファイルに登録し、現在種々テスト中ですので、どしどし使ってみてください。使用法その他に関しては利用の手引「ライブラリ編」で公表する予定ですが、とりあえず図書室、プログラム相談室でご参照ください。

プログラムの開発をしていただいた杠氏には、この紙面を借りて感謝の意を表します。